

## 長崎県観光動向調査 (令和5年4～6月分)

### ● 主要指標

令和5年4～6月

	対象施設	延べ宿泊客数 利用者数	R5-R4 同期比		(参考)R5-R1 同期比
			増減率	増減数	増減率
主要宿泊施設	194	1,338千人	+16.8%	+193千人	▲1.1%
主要観光施設	28	1,386千人	+24.0%	+268千人	

令和5年1～3月

	対象施設	延べ宿泊客数 利用者数	R5-R4 同期比		(参考)R5-R1 同期比
			増減率	増減数	増減率
主要宿泊施設	194	1,281千人	+62.4%	+493千人	▲2.1%
主要観光施設	28	1,153千人	+77.2%	+503千人	

	主要宿泊施設 客室稼働率	前年同期比 (ポイント)
4～6月累計	66.2%	+6.1
4月	63.8%	+5.2
5月	71.6%	+8.8
6月	63.1%	+4.3

### ● 概況

- 主要宿泊施設の宿泊客数は、5月8日に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行したことや外国人訪問客の水際措置が終了となったこと、西九州新幹線開業後初のGWを迎えたことなどから、5月の対前年同月比+21.2%となった。また、全国旅行支援の効果や各種イベントの開催などにより、旅行需要が堅調に推移したことから、4～6月全体の対前年同期比+16.8%となり、対R1年同期比でも▲1.1%とコロナ感染拡大前の同程度まで回復した。
- 主要観光施設の利用者数は、クルーズ客船の入港数が大幅に増加したことや修学旅行の需要が好調であったことなどから、長崎原爆資料館やグラバー園など長崎市内の観光施設の入場者数が増加し、悪天候の影響で屋外施設の利用者数が減となった施設があったものの、4～6月期全体では対前年同期比+24.0%となった。

## ブロック別の主な増減要因

### 【長崎・西彼ブロック】

西九州新幹線開業後初の大型連休を迎えたことや先進 7 カ国（G7）保健大臣会合が開催されたことなどで、関東の宿泊客や外国人の宿泊客が増加したことから、4～6月期の宿泊客数は対前年同期比+21.5%となり、対 R1 年同期比でも +4.8%となった。

### 【佐世保・西海・東彼・北松ブロック】

天候に恵まれた昨年の大型連休と比べ、雨天が多かったことなどから4～6月期全体の主要観光施設利用者は対前年減となったが、ハウステンボス周辺の宿泊施設において、関東の宿泊客を中心に増加がみられたことから、対前年同期比+15.7%となった。

### 【平戸・松浦ブロック】

工事関係者の宿泊需要が堅調に推移したものの、長崎県内や近隣県からの宿泊客が減少したことから、6月は対前年同月比▲10.2%となり、4～6月期の宿泊客数は対前年同期比▲4.0%となった。

### 【諫早・大村ブロック】

引き続きビジネス客の宿泊需要が堅調に推移していることなどから、4～6月期の宿泊客数は対前年同期比+1.9%となり、R1 年同期比では+18.3%となった。

### 【島原半島ブロック】

4～6月期の宿泊客数は対 R1 年同期比では▲21.4%となったものの、福岡からの宿泊客や外国人宿泊客の増加などにより対前年同期比は+19.4%となった。

### 【五島ブロック】

五島列島が舞台の連続ドラマ放送の効果などにより、関東を中心に宿泊客が増加したことなどから、4～6月期の宿泊客数は対前年同期比+31.2%となった。また、対 R1 年同期比でも +25.2%と大幅増となった。

### 【壱岐ブロック】

昨年4月に市独自の旅行割引があったことの反動により、4月は対前年同月比▲15.7%となったものの、4～6月期全体の宿泊客数は関西からの宿泊客の増加があったことから、対前年同期比+8.3%となった。

### 【対馬ブロック】

5月より比田勝港と韓国釜山を結ぶ国際定期航路が毎日運航となったことや団体客の増加が見られたことなどから、4～6月期全体の宿泊客数は、対前年同期比+43.5%となった。

### 【参考】外国人観光客（宿泊客）の動向

5月8日に新型コロナウイルス感染症の水際措置が終了されたことに伴い、台湾をはじめ、香港や韓国からの外国人宿泊客数が大幅に増加したことから、4～6月期全体の対前年同期比は+327.8%となった。

(参考資料)







